

## 津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨格(案)

### 総合戦略の趣旨

#### 1 目的

総合戦略は、津山市が直面している人口減少、少子高齢化に歯止めをかけ、将来にわたり発展し、活力あふれるまちを実現するため、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や岡山県が策定する「おかやま創生総合戦略」との調和を図りつつ、人口ビジョンにより将来展望を示し、目指すべき方向性と具体的な施策を示すものとします。

#### 2 大目標

本市の総合戦略は、次の2つを大目標として掲げます。

- (1) あらゆる施策を講じて人口減少・少子化を食い止め、人口構造を維持し、まちの活力を創出する。
- (2) 住みやすさを追求し、住み続けたい・住んでみたいまちを実現する。

#### 3 総合戦略の位置付け

総合戦略は、喫緊の課題である人口減少問題に対応し、地方創生を成し遂げていくため、「津山市人口ビジョン」に掲げた本市の未来に向けた4つの基本目標に基づき、第5次総合計画をはじめ、各種計画との整合を図り「総合戦略事業」と位置付け、今後、5年間の取組についてまとめた行動計画とします。

#### 4 計画期間

平成27年度から平成31年度までの5年間の計画とします。

#### 5 基本目標の設定と政策検証の枠組み

本市の4つの基本目標ごとに5年後の基本目標を設定します。その際基本目標は、実現すべき成果に係る数値目標とします。

また、基本目標ごとに講ずべき施策の基本方向と具体的な施策を記載し、各施策の効果を客観的に検証できる指標(重要業績評価指標(KPI) Key Performance Indicators)を設定します。

さらに、社会経済情勢や市民ニーズへの的確かつ柔軟な対応をするとともに、産・学・官・金・労・言・市民公募委員で組織した「津山地域創生推進会議」において、毎年度 PDCA サイクルによる事業評価の検証を行い、必要に応じて見直しをすることとします。

## 施策の方向性

### 1 市の施策の基本目標

人口減少への危惧を打開し、持続可能な市政運営を行っていくためには、将来にわたり活力ある発展をしていくことが重要です。また、高度経済成長以降に集中的に整備された都市インフラや公共施設の多くが耐用年限を迎えつつあり、老朽化した施設の対策が今後の大きな課題となっています。

これらの課題を踏まえ、行財政の改革により財政の健全化に努め、捻出した財源を将来に向けて投資するという考え方のもと、短期的な施策として4つの基本目標を掲げ、優先的かつ重点的に取り組んでいきます。

本市が優先的に取り組むこととしている基本目標は、次のとおりです。

#### ➡ 基本目標1 地域経済を活性化させ、安定した雇用を創出する。

##### 基本的方向

(例) 津山市成長戦略の4つの分野(農林業・ものづくり・観光・再生可能エネルギー)を基軸とした魅力ある仕事づくりを行い、あわせて、津山市産業支援センター(平成27年4月設立)を核とした産業支援を行うことで、若者が希望する職と安定した雇用を創出する。

重要業績評価指標(KPI) 現況 ➡ 平成31年度

##### 具体的施策

- ア 津山市成長戦略の4つの分野(農林業,ものづくり,観光,再生可能エネルギー)を基軸とした産業振興
- イ 産業支援センターを核とした産業支援(新規創業,販路開拓,新技術開発,金融支援など)
- ウ 地域再生制度の活用など

#### ➡ 基本目標2 津山市への新たな人の流れを創出する。

##### 基本的方向

(例) 若年層をはじめとして人口の還流を図り、出身者はもとより、移住者を受け入れ、住み続けたい・住んでみたい“まち”を実現する。

重要業績評価指標(KPI) 現況 ➡ 平成31年度

## 具体的施策

- ア 若者をはじめとして人口の還流を図る。(IJU ターン, 奨学金制度の拡充, 市内学生のインターンシップ, 就職面接など)
- イ 移住・定住・試住の3住プログラムによる転入者の増加を図る。(ポータルサイト, 移住相談, 情報発信, お試し住宅, 移住体験ツアー, IJU サポーターの配置, 空き家活用助成制度創設など)
- ウ 交流人口の増加による地域の活性化(地域おこし協力隊の活用など)

- ➡ **基本目標3 若い世代を中心として, 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちを実現する。**

## 基本的方向

(例)人口減少を克服するために若い世代が安心して働き, 希望どおり結婚でき, 安心して出産・子育てができる社会を実現する。

**重要業績評価指標(KPI)** 現況 ➡ 平成31年度

## 具体的施策

- ア 安心して出産・子育てができる環境の整備(不妊不育治療助成, 子ども医療費助成の充実, 子ども子育て支援充実事業など)
- イ 結婚支援
- ウ ワークライフバランスなど働きやすさ・非正規雇用者低減施策, 雇用環境の改善など

- ➡ **基本目標4 これからの時代に対応した持続可能なまちづくりと地域間連携を進める。**

## 基本的方向

(例)岡山県北の拠点都市として, 市街地における都市基盤の形成と周辺部の生活機能の形成など, バランスのとれたまちづくりを進めるとともに, より広域での地域間連携の強化を図ります。

**重要業績評価指標(KPI)** 現況 ➡ 平成31年度

## 具体的施策

- ア 小さな拠点の整備, コンパクトビレッジの推進(過疎集落等自立再生緊急対策事業など)
- イ コンパクトで機能的な集約型のまちづくりの推進(中心市街地活性化計画, 立地適正化計画など)
- ウ 県北の拠点都市としての役割の強化(圏域地域創生協議会における圏域間連

携の推進)など